

写真複写

外地情報 (南方一般)

昭和二十一年一月五日
二十一年七月五日

才一復員局資料課

①
終戦処理
165



参考情報甲第四〇號

南方に於ける日本軍隊の現況に就て

昭二一、五
南方軍連絡部
第一復員局資料課復寫

4

本書は當連絡部員の作業に限り不致取調するものにして尙推補の
餘地あるも留守業務部、地方世話部等の復員相談の資料或は上陸地
支局等に於ける上陸者接収の資料として配布す

昭和二十一年五月

南方軍連絡部長 中堂 觀 意

第一、南部係印

南部係印とは領印度支那中東南亞細亞聯合軍最高司令官により日
本軍の終戦業務を處理せらるる地域（北緯十六度以南にして概ねマ
ーラン）（含まず）以南を謂ふ

ノ主要集結部隊

- 陸軍ノ南方軍總司令部（信又は威一六〇）、第二師團（森又は
勇一三二〇）、第五十五師團（森又は壯八四一三）（主力）
- 第五飛行師團（信又は高九六三八）、南方軍直轄部隊の一
部、第三十八軍直轄部隊の大部
- 海軍ノ第十一根據地隊、第十善備隊

2. 集結地

- 西貢（軍司令部の一部と作業地）
- 「サンジャック」「バリヤ」「ヌーミ」 陸軍部隊
- 「ソドモ」 海軍部隊



3. 集結人員

六萬九千

4. 歸還時期

戦犯關係等九四七名を除き五月下旬一應完了す

5. 治安状況

終戦當時は安南人の獨立運動の爲一部犠牲者を出したる部隊あるも佛、安南の妥協成立に伴ひ逐次帰還しつづめる現況に於ては概ね平靜なり

6. 給養状況

昨年一月末は日本軍自給にて實施しありたる爲良好なる給養を維持し得たるも逐次聯合軍より制限を受け二月二十三日以終歸還者定量即ち一般一六八五「カロリー」勞務従事者二五二八「カロリー」に指定せられあるも既集積物資及現地自活品により補足しありて憂慮すべきことなし

7. 被服状況

終戦當時軍保有品を各將兵に配布し良好なる裝備の状況にあり冬季被服亦若干を保有しある爲大なる願望を要せず

8. 衛生状況

入院患者は一月末調にて約五千名にして衛生材料は特殊の不足品あるも数ヶ月分は保存しあり

9. 其他

○將兵は總て所持現金を聯合軍により回収せられ回収證明書を所持しあり

○聯合軍の要求する作業は荷役、飛行場整備等なり

○部隊の大部は集結地に於て現地自活を営み乍ら歸還待機中なり

其二、泰國

1. 主要集結部隊



第十八方面軍（舊第三十九軍）（義七九七〇）、第十五軍（泰
又は林一〇七一九）第四師團（義又は泥四〇六六）、第十五師
團（泰又は祭七三七九）、第二十二師團（義又は辰七九四九）、
第三十三師團（泰又は弓一〇七二二）、第三十七師團（義又は
冬三五四〇）、第五十六師團（義又は龍六七〇三）獨立混成第
二十九旅團（義又は龍一五八二二）、南方軍野戦鐵道司令部隊
又は間一五八〇一）、軍區部、鐵道部等

海軍

第十三根拠地

2 集結地

「ハンコック」 軍司令部

「ニコムチヨイ」 「コロサマ」 司令部（第十六軍、第四師團）

「ブ」 司令部（第二師團、第五十六師團、南軍部）

「ナロンバトム」 第三十三師團
「バンボン」 第十五師團、鐵道部隊
其他鐵道部隊は泰緬線、南泰線に展開しあり

3 集結人員

十一萬六千（「ビルマ」より本年一月以降轉進せる部隊を含ませ）

4 歸還時期

概ね七、八月乃至九月

5 治安状況

治安は憂慮すべきことなく寧ろ「シヤム」人の對日感情は最近良
好なるものの如き情報あり

6 給養状況

現給食糧事情良好且給養を擔任しある泰國政府又友好的なる爲給
養状況は南方諸地域中最も良好なり概ね二、五〇〇「カロリー」
程度以上を維持しあり

7. 横線状況

從來より泰國に駐屯しある部隊は良好なるも終戦直前「ビルマ」より轉入せる部隊（約四萬）（第十五軍第十五師團第三十三師團第五十六師團）は不良なり特に上陸地に於て更新を要す

8. 衛生状況

北「ビルマ」其他より集結地への移動及宿營施設等の不備等により「マラリヤ」消化器疾患（「アメーバ」赤痢、脚氣）等の患者比較的多く一月末調約九千の入院患者あり
衛生材料は特殊の不足品あるも概ね半年分程保有しあるものと判断せらる

9. 其他

○私金は聯合軍に回収せられり
○集結部隊は聯合軍の特殊（飛行場修築、鐵道整理、運書及接投等）に従事するもの等もあるも大部は聯合軍の作業に従事し

其三、「ビルマ」

主要集結部隊

陸軍

「ビルマ」方面軍（森七九〇〇）、第二十八軍（森又は第九四一〇）、第三十三軍（森又は七九〇一）、第十八師團（森又は第九一八）、第三十一師團（森又は九一〇七二）、第四十九師團（森又は九一八七〇）、第五十三師團（森又は安一〇一七）、第五十四師團（森又は兵一〇一〇九）、獨立混成第二十四旅團（森又は一五八一四）、同第七十二旅團（森又は資一三三）、同第五十五旅團（森又は政威）、第五十五師團の一部（森又は壯八四一三）、戰車第十四（森八九九三）、獨立工兵第四（森三七八六）、第二（森八一二七）、野戦重砲兵第五（森六七七一）、電信第十九（森一〇七〇〇）、鐵道第九（森又は誘又は岡五八〇三）各部隊、其他自動車中隊、補給隊等



第十七警備隊、第十三警備隊

2. 集結地

「ムドゥン」	「ビルマ」	方面軍司令部	八、〇〇〇
「モールメン」	獨逸七二旅團		三、三〇〇
「ムンピサヤ」	獨逸二四旅團		三、五〇〇
泰緬線	鐵道九聯隊		二、五〇〇
「イエ」線			二、五〇〇
「マルタパン」			
「ベグ」	「バヤン」	第三十八軍、第三十三軍、第五十四聯隊	
「タト」			二八、〇〇〇
「モバリン」	第十八、五十三聯隊		一、〇〇〇

其他

右部隊中方面軍司令部の一聯獨逸二四旅團の主力食糧主力鐵道第九聯隊主力及第三十三軍の一連ハ「モバリン」三、五〇〇」

トン一、五〇〇を殲し本年三月末迄に泰國に轉進する如く指示せられあり恐らく轉進完了しあるものと判断せらる

3. 集結人員

約六萬八千

4. 歸還時期

泰國に轉進の上「バンコック」より乘船の豫定にして部隊の轉進集結の状況に因り差違あるも概ね本年六月乃至八月頃歸還可能の見込なり

5. 治安状況

詳細不明なるも治安上憂慮すべき程のものなきものと判断せらる日本軍は英第十四軍の管理を受けあり

6. 給養状況

日本軍保有糧秣によるものと英軍より直接交付によるものとあり部隊及勞務の状況により差違あるも米は大體五〇〇乃至六〇〇

程度にして熱量二、一〇〇乃至二、七五〇「カロリー」程度を維持し良好なりと判断せらる

2 被服状況

終戦時迄被服を繼續しありたる爲相當に損し且終戦後定數（毛布一、衣袴、襪袴類二、雨外套、靴、水筒、飯盒外一）の外は莖軍に回収せられたる爲程度不良にして中以下なり「シンガポールの方面より補給計畫せるもその成否は不明なり上陸地に於て十分なる支給を要す

3 衛生状況

衣食住の衛生的條件は概ね生存の最低限度にある程度なるを以て健康状況は逐次低下しつつあり「マラリヤ」病氣の再發多く又一見健康と見ゆるものも作業に於て容易に疲弊し全身倦怠を訴へ健康状態にあるものも懸料せらるるもの多し

2 其他

私金は總て回収せられり
部隊の大部は聯合軍の作業に従事しあり
其四、馬 來

1 主要集結部隊

陸

- 南方軍總司令部、一部（威一一六〇）、第七方面軍（岡一六一五）、第三航空軍（岡又は司九八一三）、第二十九軍（岡又は定九四一一）、各司令部
- 第四十六師團（岡又は靜一一九六一）、第九十師團（岡又は威烈一八五〇一）、獨立混成旅二十六（岡又は鐵一〇九一六）、三十五（岡又は鐵一五八三二）、三十六（岡又は鐵一五八四〇）、三十七（岡又は鐵一五八四四）、七十（岡又は果敢一七〇〇〇）、各旅團第三船艙輸送司令部（岡二九四四）、戰車十五聯隊（岡五

九三二二
海軍

第十方面艦隊（第一南遣艦隊司令部、第二航空艦隊司令部、
照南特別根據地隊、第十二特別根據地隊。「ベナン」特別根據
地隊、第十四警備隊

2. 集結地

「レンバン」島（第七方面軍司令部一部、第三航空軍、第二十九
軍各司令部、第四十六師團、九十四師團、獨混
二十六、三十五、三十七、七十各旅團、第十二
特根、第十四警備隊）

「ガララン」島（第十六軍、第二十三軍、陸海軍下部隊）

「シンガポール」（第七方面軍司令部一部、第十方面艦隊、陸海軍作
業隊）

「シヨボール」島（南方面軍司令部一部、第七方面軍司令部一部、陸

海軍作業隊

「クアラランブール」「マイピン」「スンゲイバタン」等の一部集
結しあり

3 集結人員（二十一年一月六日現在）

陸軍 一五一、〇四二

海軍 三五、六六五

4. 歸還時期

五月以降、九月頃迄（滿洲方面の輸送開始に伴ひ若干遅延を見
るものと判断せらる）

5. 治安状況

憂慮すべきものなし

6. 給養状況

聯合軍の補給及現地自活に依り一般一、六〇〇「カロリー」勞務
従事者二、五〇〇「カロリー」程度の給養を維持しあり